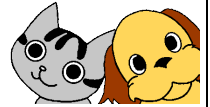


防ごう！ 動物由来感染症



「動物由来感染症」とは、動物から人に感染する病気のことを言います。

動物由来感染症には、人も動物も発症する場合と人だけが発症する場合があります。動物に咬まれる、糞便を触る、ダニや蚊に刺されるなど、感染の経路は様々です。

動物由来感染症にかからないためにはどうすればよいのでしょうか。

動物種	主な感染症	感染経路
犬	パストツレラ症、皮膚糸状菌症、エキノコックス症、カプノサイトファーガ感染症、コリネバクテリウム、ウルセランス感染症、ブルセラ病、重症熱性血小板減少症（SFTS）、狂犬病	感染症によって様々ですが、次のケースが多い。 ・咬まれる、引っかかれる ・糞便やヨダレに触れる ・ダニ、蚊、ノミ、ハエの媒介 ・水、土壌
猫	猫ひっかき病、トキソプラズマ症、回虫症、Q熱、パストツレラ症、カプノサイトファーガ感染症、コリネバクテリウム、ウルセランス感染症、皮膚糸状菌症、重症熱性血小板減少症（SFTS）、狂犬病	
ネズミ、ウサギ	レプトスピラ症、鼠咬症、野兎病、皮膚糸状菌症	
小鳥、ハト	オウム病、クリプトコッカス症	
は虫類	サルモネラ症	

予防するには？

動物との過剰な接触を避けることが基本です。

- ・ ペットにキスをしたり、一緒に風呂に入る等の濃厚なふれあいはやめましょう
- ・ 動物に触ったら、必ず手洗いをしましょう
- ・ 糞尿は直接接触らずにすみやかに片付けましょう
- ・ ペットの身の回りは清潔にしましょう
- ・ 狂犬病予防法に基づく予防接種を行いましょう（犬）
- ・ ペットに駆虫薬を与えましょう（ダニ、ノミ、回虫等の予防）
- ・ ダニや蚊に刺されないようにしましょう
- ・ ペットを適切にしつけましょう（咬傷事故、引っかきの予防）
- ・ 室内で動物を飼う場合は定期的な換気を心がけましょう



過剰反応は禁物！

新型コロナウイルスが動物に感染するか、動物に症状が出るか、動物から人にうつるか等、今のところ何もわかっていません。

一部の報道やSNSの書き込みなどの不確かな情報等に惑わされ、大切なペットを捨てたり手放したりすることのないよう、冷静に対応してください。

【犬・猫の飼い方教室開催日程】

【お知らせ】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急遽講習会を中止する場合がございます。

必ず事前にお問い合わせをお願いいたします。

会場：動物愛護指導センター

参加を希望される場合は、電話で予約をお願いします。
教室は午前10時または午後2時から開催します。



犬の飼い方教室 ※ 譲渡前講習会又はSTEP1からスタート!!



譲渡前講習会 (対象：センターから譲渡を希望する方、これから犬を飼い始める方)

4月15日(水) ※午前10時開始
5月16日(土) ※午前10時開始
6月17日(水) ※午前10時開始

※ 講習会終了後、譲渡会を予定しています。



STEP1 (対象：犬を飼っている方) ※犬の同伴はできません。

5月20日(水) ※午後2時開始



パピーコース (対象：主に生後3~4ヶ月齢以上の子犬・小型犬)

6月3日(水) ※午前10時開始

※同伴する犬には、犬の登録、混合ワクチンの接種等参加条件があります。



猫との暮らし方教室

4月22日(水) ※午前10時開始
5月13日(水) ※午後2時開始
5月27日(水) ※午後2時開始
6月10日(水) ※午前10時開始
6月27日(土) ※午前10時開始

※ 講習会終了後、譲渡会を予定しています。

発行元：山梨県動物愛護指導センター
〒409-3812 中央市乙黒1083
Tel 055(273)5034

発行日：令和2年3月23日
「ふれんど」バックナンバーはこちら →
Fax 055(273)5614

